

# 事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

568

学校給食管理運営事業（中学校）

[長期総合計画]

分野別目標	3	子供たちがいきいきと育つまち
政策	3	生涯を通じた豊かな心と健やかな体の育成
施策	2	健やかな体を育む教育の推進
取組方針	3	食育の推進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		教育費	
	項		中学校費	
	目		学校管理費	
	大事業		中学校管理事業	
	中事業		学校給食管理運営事業（中学校）	

事業種別	継続		関連個別計画				
事業年度	平成24年度	～	無し	担当課・担当課長・Tel	保健給食管理課	福井 博之	435-1137
事業実施の根拠法令	学校給食法 第6条第1項及び第7条第1項		関連課				

## 1 事業内容

事業目的	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		全体事業概要		
	成長期に必要な栄養を摂取できる安心安全な給食を提供する。		中学校給食実施に伴う経費の支出 （「家庭の弁当を持参」「業者が調理及び各学校へ配送する給食」のいずれかを選べる選択制による給食） 中学校給食運営委員報酬 中学校給食実施校に対し、消耗品費を配分 食品衛生検査、残留農薬検査 中学校給食調理配送委託 中学校配膳室害虫駆除		
事業内容	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
	中学校16校の希望する生徒に対して給食を提供。伏虎義務教育学校（後期課程）の全員給食開始	中学校16校の希望する生徒に対して給食を提供。伏虎義務教育学校（後期課程）の全員給食実施 加太中学校の全員給食開始	中学校で希望する生徒に対して給食を提供する。	中学校で希望する生徒に対して給食を提供する。	中学校で希望する生徒に対して給食を提供する。

## 2 事業コスト

事業費等（千円）	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	105,821	60,629	78,156	52,408	59,319	54,487	65,318	0	65,318	0	
伸び率（%）	△0.8%	△1.9%	△26.1%	△13.6%	△24.1%	4%	10.1%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	9,332	10,050	10,070	10,390	10,471	11,357	14,659	0	14,659	0
	正規職員以外	25	25	0	441	0	195	0	0	0	0
	小計	9,357	10,075	10,070	10,831	10,471	11,552	14,659	0	14,659	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源（税等）	105,821	60,629	78,156	52,408	59,319	54,487	65,318	0	65,318	0	
所要人数（人）	正規職員	1.17	1.26	1.26	1.30	1.30	1.41	1.82	0.00	1.82	0.00
	正規職員以外	0.01	0.01	0.00	0.28	0.00	0.12	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	手数料176千円、業務委託料58,650千円 等										

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
中学校給食実施校数	校	目標値	17	18	18	18	18
		実績値	17	18	18		
		達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
中学校給食実施率	%	目標値	100	100	100	100	100
		実績値	94.4	100	100		
		達成度(%)	94.4%	100%	100%	%	%

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき		他の主体との協働も可能	○ 市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	栄養バランスをとれた給食を提供することは成長期にある中学生の心身の健全な発達や健康の増進を図るために大きな役割を担っており、今後も継続する必要がある。
見直し・改善内容	喫食率の向上に努め、事業を継続する